

全国歴史教育研究協議会 令和2年度 第2回常任理事会 次第

1 会長挨拶（2ページ）

2 第61回研究大会（岩手大会）進捗状況（3ページ）

3 第62回研究大会（大阪大会）進捗状況（4-6ページ）

4 第63回研究大会（茨城大会）進捗状況（7ページ）

5 事務局より

（1）令和2年度決算中間報告（8-9ページ）

（2）大学入学共通テスト試験問題分析

- ・東京都歴史教育研究会に委託し、2月中に取りまとめ大学入試センターへ送付予定です。

（3）研究紀要第57集

- ・岩手大会関係の原稿はすべて集約済で、現在校正中です。
- ・「地方研究会だより」原稿を各都道府県研究団体事務局に依頼済です（2月15日締切）。
- ・各研究団体の会員の皆様へ同紀要をご案内くださいますようお願いいたします（2月末日購入申込み締切）。

（4）第1回全国理事会

- ・5月中に実施予定です。詳細は後日、HPやメール等でご連絡いたします。

（5）その他

- ・5月に令和3年度の各研究団体の体制調査を、令和2年度の事務局宛に依頼予定です。事務局が交替される研究団体には全歴研に関わる引継ぎを宜しくお願いいたします。

6 各県より

- ・神奈川県より 関東歴史教育研究協議（関東歴研）神奈川大会の案内（10-11ページ）

現在、講演（講師・伊藤泉美氏）につきましては、オンラインでの実施にて準備を進めております。ただし、今後の「緊急事態宣言」の状況によっては開催についての変更の可能性があります。

7 その他

(ご挨拶) 大阪大会を見据えて～第2回常任理事会に寄せて



全国歴史教育研究協議会

会 長 川瀬 徹

(東京都立東村山高等学校長)

理事の皆様には日頃から全国歴史教育研究協議会の活動に数々のご理解とご尽力をたまわりまして、まことにありがとうございます。

さる2月2日に国は一都三県を含む10都府県を対象に緊急事態宣言を3月7日まで延長することを決定し、関係地域では緊急事態措置を延長し、徹底して人流を抑え込むために、不要不急の外出自粛や事業者に対する営業時間短縮、イベント等の開催制限などに加え、最大限の対策を講じております。

こうした中において全国歴史教育研究協議会第2回常任理事会もまた大事をとって、持ち回り審議とさせていただくこととなりました。昨年末まではせめて第2回はオンライン会議でと準備をしかけたのですが、年明けの諸事情を慎重に判断し、このような形とした次第です。結局、今年度は対面による会議形式をとることがまったくできなかったわけであり、まことに残念な次第です。

なかなか新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況が続いてはありますが、第62回研究大会(大阪大会)はもちろん第63回研究大会(茨城大会)についても着実に準備が進んでいることは、以下に示させていただく資料から明らかであります。また、第61回研究大会(岩手大会)の記録を掲載する研究紀要第57集の編集・校正作業が進行中です。今夏に予定される第62回研究大会は大阪においてWEB会議形式で開催するわけでありまして、開催にあたっての課題を一つ一つ解決し、困難な時代を切り開く試みとして、何としても実現したいと願っております。大阪から茨城へそしてやがて第64回研究大会(東京大会)へとつなぐためにも、第2回常任理事会を持ち回り審議ながら十分に機能させ、全歴研の新時代を創造してまいります。皆様におかれましては全歴研活動に一層のご理解とご支援を頂きますよう、伏してお願い申し上げます。

全国歴史教育研究協議会 第 61 回研究大会（岩手大会）誌上発表について

（１）『全歴研研究紀要第 57 集』作成に係るスケジュール

経過報告

- 4 月 2 日（木） 全歴研岩手大会実行委員会（岩手県立花巻南高等学校）
→岩手大会中止（案）を上野会長他東京事務局へ打診。
- 5 月 13 日（水） 地歴・公民部会第 1 回理事会（岩手県立北上翔南高等学校）
→大会中止を受け、今後の告知及び県内対応の確認。紙上発表とする。
- 6 月 1 日（月）～ 9 日（火） 『研究紀要第 57 集』原稿寄稿依頼発出
- 11 月 9 日（月） 岩手県高等学校教育研究会歴史部会教員研修会
→東北大学大学院経済学研究科教授 小田中直樹先生 講演
岩手大会提案者からの実践報告 ※対象は県内歴部会教員のみ
- 11 月～12 月 岩手大会誌上発表原稿編集・校正作業
- 12 月 2 日（水） 研究紀要原稿発送 岩手大会事務局→全歴研事務局へ
- 12 月～1 月 校正 東京事務局（三好先生）→岩手事務局→寄稿執筆者

※岩手県高教研地歴公民科『2020 年報社会科研究』に、本県執筆者の発表要旨を転載する。

（２）その他

ア 次年度大阪大会では、岩手大会の提案者から第 2 分科会と第 4 分科会、第 5 分科会において、発表の機会を頂くことになりました。岩手からの発表者は、以下のとおりです。本当にありがとうございます。

第 2 分科会 岩手県立岩泉高等学校 古川 剣士
第 4 分科会 東北学院大学榴ヶ岡高等学校 多々良 穰
第 5 分科会 岩手県立盛岡第一高等学校 梨子田 喬

また、茨城大会事務局へは、ご迷惑をお掛けしますが今後、第 2 分科会か第 3 分科会で候補を調整いたします。

イ 『研究紀要第 57 集』は岩手大会の開催へ向け、新学習指導要領を踏まえた実践課題についての研究成果です。記念講演から第 1～第 5 分科会まで総て大会に即した内容となっておりますので、全国の先生方には是非ご一読いただき、ご指導願えればと思います。岩手大会事務局での申込受付は終了しました。

なお、今後は全歴研本部HPで申込サイトの開設をお願いしたいと思います。

ウ 会計報告は別紙の通りです。

岩手大会テーマ 「新しい歴史教育の実践へ向けて
～「問い」や「主題」を中心に構成する単元学習の展開～」

記念講演 「世界史とつないで見えてくる日本の歴史
—キリスト教宣教師の来日からペリーの来航まで—」
東北大学名誉教授 前宮城女子学院大学学長 平川 新 先生

第 1 分科会テーマ「新しい歴史教育の実践へ向けて」

第 2 分科会「歴史総合へ向けた実践～新しい歴史理解の扉～」

第 3 分科会「日本史探究へ向けた実践～新しい歴史理解に基づく日本史探究～」

第 4 分科会「世界史探究へ向けた実践～新しい歴史理解に基づく世界史探究～」

第 5 分科会「新しい歴史学習の実践～高校歴史学習における ICT 活用の工夫～」

1. 事務局役員

委員長：石井 研吉（府立長尾高校長、大阪府高校社会（地歴公民）科学研究会会長）

副委員長：内田 正俊（府立福井高校長）・布施 真（大阪市立汎愛高校長）・竹下 健治（昇陽高校長）

事務局長：田村 健（府立守口東高）

副事務局長：宮崎 亮太（関西大学高）

会計：浅田 竜（府立野崎高）

2. 期日 令和3（2021）年7月28日（水）～7月29日（木）

	10:30	11:00	11:45	13:00	17:00
7/28(水)	受付 (接続時間)	総会 【録画】	昼食	分科会(第2～第5) 【ライブ配信】	
9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	14:30
7/29(木)	受付 (接続時間)	第一分科会全体会 (シンポジウム) 【ライブ配信】	昼食	記念講演 【質疑応答】	閉会行事

※1時間に10～15分程度の休憩を入れる予定

3. 大会テーマ 「今、歴史教育のめざすものを問い直す」

4. 分科会・講演会の概要

第1分科会： 「歴史教育に関わる教師の力量はどのように形成されるのか」

—新しい歴史教育に向けて教師の力量形成に果たす研究会の役割—

リーダー：田村健（守口東）、宮崎亮太（関大高）、仙波義規（八尾支援）

パネリスト：中村翼（京都教育大）、土井啓瑛（狭山高）

中村洋樹（四天王寺大学社会学部）、栗山和之（大阪府千早赤阪村教育長）

助言者：峯明秀（大阪教育大学教授）

第2分科会：「歴史総合をどのように学ぶか」→ミニシンポジウムに。

リーダー：田上浩（桜塚高）、小西真里奈（大教大付属平野）

提案者：梶木 尚美（水都国際）、周藤 新太郎（千葉県立東葛飾高校）、

古川 剣士（岩手県立岩泉高校） **第3分科会**：「日本史探究をどのように学ぶか」

リーダー：渡邊邦雄（市立南高）、濱田勇輝（市立南高）

提案者：濱田勇輝（市立南高）、寺崎仁樹（愛光学園高）、中野祥利（泉陽高）

助言者：西本昌弘（関西大学文学部教授）

第4分科会：「世界史探究をどのように学ぶか」

リーダー：小川未来（北千里高）、熊原真史（大教大付属平野）

提案者：矢景 裕子（神戸大学附属）、松岡弓弦（ヴォーリス学園高）

多々良 穰（東北学院大学榴ヶ岡高等学校）

第5分科会：「教科の枠をこえて、どのように歴史を学ぶか」

リーダー：西本貴博（布施工科高）、古田嘉康（交野支援学校）

発表者：前川修一（福岡県立ありあけ新世高） 土居亜希子（御影高校） 皆川雅樹（産業能率大）

梨子田喬（岩手県立盛岡一高）

講演会：山内晋次先生（神戸女子大学文学部教授） 講演テーマ：「鳥島も入っています」（仮）

担当者：内田正俊副委員長（福井高校）、飯田千秋（守口東）

<進捗状況>

1. 事務局から

- ・発表者の確定：11月に岩手大会事務局より推薦者2名の連絡→依頼済み
- ・(株)ネオキャリアによる事務局メンバーへのCalling説明会→メンバーのIDを登録中

2. 会計

- ・東京本部より補助金の入金済み→予算案の策定済

3. 開催形態の詳細

①全体

- ・Web会議システムはCallingを使用（ZoomのWebセミナー方式と似ている）（会場参加は予定なし）
（参加要領、資料のダウンロード方法など詳細を申し込み時のメールアドレスに送信予定）
- ・大会期間中は関西大学百周年記念会館に本部を設置して大会運営する予定
- ・テクニカルサポートの費用を参加費に反映させる。参加費は3000円の予定。

②各会

- ・全国理事会 事前に書類の持ち回りによる審議（状況によっては、一部役員の来阪も検討）
- ・分科会 報告&質疑をライブ配信
- ・講演会 講演は録画（事前視聴）、質疑応答はライブ配信→撮影スケジュールの調整中
- ・視聴者の集中力を考え1時間ごとに10分程度の休憩を入れる時程の編成中。
- ・発表画面の構成（発表者が映るかどうかなど）は各発表者での統一はしない→各分科会で情報共有中

③その他

- ・各分科会を渡り歩く視聴も可能→しかし、各分科会で時程はそろえない。
- ・リアルタイム配信後に、1週間程度は録画視聴ができるようにすることを検討
- ・各分科会でオンラインでの会議をおこない、内容の詳細を検討中→3月にはCallingを用いた会議
- ・研究報告書は組版をしてPDFで配布する予定。
- ・報告者からの当日追加資料については参加者がダウンロードして入手できるようにする。

4. 実行委員

- ・各分科会で、司会 1 名・運営 3 名（チャット読み、質問整理など）の計 4 名の人員を配置予定
- ・今年度末までに実行委員会の配置を行う

5. 宣伝・広告

- ・大阪高等学校社会科研究会の Web ページを活用した宣伝
- ・地元の大学への宣伝を検討（学割の検討）
- ・広告協賛金について→休憩時間に教科書会社に動画（またはスライド）による広告を検討する
研究報告書への広告掲載を検討
地元大学にも依頼？

全国歴史教育研究協議会第 63 回研究大会（茨城大会）準備進捗状況報告

1 日程

令和 4（2022）年 7 月 27 日（水）総会・第 2～第 5 分科会
7 月 28 日（木）第 1 分科会（シンポジウム）・記念講演
7 月 29 日（金）史跡見学
[26 日（火）午後に全国理事会を予定]

2 大会テーマ

「新学習指導要領のもとでの歴史教育」（仮）

3 会場

ホテルレイクビュー水戸（J R 水戸駅南口から徒歩 3 分） ※仮予約済み

4 記念講演

講師は村井章介先生（東京大学名誉教授） 演題は未定

5 分科会構成

第 1 分科会「主体的・対話的で深い学びについて考える」（仮）

- ・基調講演…演題未定、講師…伊藤純郎先生（筑波大学教授）
- ・パネルディスカッション

第 2 分科会「歴史総合の実践～歴史総合で求められる資質・能力を育成するために～」（仮）

第 3 分科会「日本史探究に向けた実践

～日本史探究で求められる資質・能力を育成するために～」（仮）

第 4 分科会「世界史探究に向けた実践

～世界史探究で求められる資質・能力を育成するために～」（仮）

第 5 分科会「新しい歴史学習の実践」（仮）

※第 1 分科会では、基調講演の後、パネルディスカッションを予定しています。

※第 2～第 5 分科会の発表者は、各分科会とも、茨城県 2 名、他県 1 名の計 3 名の予定。第 2 か第 3 分科会で候補を調整中との岩手県からの依頼の件は、了解しました。

※県外発表者への依頼について

第 2 分科会（歴史総合）…岩手県か栃木県にお願いできればと思います。

第 3 分科会（日本史探究）…岩手県か栃木県にお願いできればと思います。

第 4 分科会（世界史探究）…群馬県にお願いできればと思います。

第 5 分科会は県内中学校に依頼する予定です。

6 史跡見学

茨城県内 2 コース（水戸・徳川関係、坂東・つくば関係）を設定する予定

令和2年度 会計報告【2月】

全国歴史教育研究協議会

一般会計

《収入の部》

	科 目	予算額	決算額	増減	備 考
1	繰 越 金	1,750,385	1,750,385	0	
2	会 費 収 入	10,000	74,000	64,000	岩手大会中止により(現時点で、37冊の申込)
3	印 税	1,000,000	1,176,604	176,604	山川出版社印税等
4	雑 収 入	0	9	9	助成金・協賛金(研究報告広告等)・預金利息等
5	特 別 会 計 よ り	500,000		500,000	特別会計大会運営基金より支出
	合 計	3,260,385	3,000,998	259,387	

《支出の部》

	研 究 大 会 費	500,000	500,440	440	大阪大会
1	謝 礼 金	0		0	講師謝礼・パネリスト謝礼・県外提案者謝礼等
2	旅 費	0		0	発表者旅費等
3	借 損 料	0		0	会場使用料・立て看板・音響設備・パソコンレンタル代等
4	研 究 報 告 書	500,000	500,000	0	研究報告書印刷費・資料費
5	大 会 案 内 費	0		0	通信費・参加費振込み手数料等
6	消 耗 品 費	0		0	ネームプレート・文房具等
7	予 備 費	0	440	440	運搬費・役員旅費等
	研 究 成 果 刊 行 費	952,000	0	952,000	
8	印 刷 製 本 費	500,000		500,000	紀要第56集
9	編 集 費	150,000		150,000	テープ起こし代等
10	配 送 費	300,000		300,000	紀要発送費
11	消 耗 品 費	2,000		2,000	電子媒体等
	事 務 局 費	400,000	154,932	245,068	
12	会 議 費	100,000	6,000	94,000	理事会お茶代・交通費・大会打ち合わせ等
13	通 信 渉 外 費	50,000	12,670	37,330	各種文書発送費
14	H P 運 営 費	220,000	135,822 ▼	84,178	HP管理者給与(10,000/月)・Zoom年間契約・通信費等
15	消 耗 品 費	30,000	440	29,560	ICレコーダー電池・紙・封筒等
	特 別 会 計	200,000	0	200,000	
16	特 別 会 計	200,000	0	200,000	70周年記念大会基金、および研究大会運営基金として
	予 備 費	100,000	0	100,000	
17	予 備 費	100,000		100,000	
	合 計	2,152,000	655,372	1,496,628	

収入総額 3,000,998

支出総額 655,372

残金 2,345,626

令和2年度 会計報告【2月】

全国歴史教育研究協議会

特別会計

《収入の部》

	科 目	予算額	決算額		増減	備 考
1	繰越金	870,144	870,144		0	
2	一般会計より組入	200,000	0		200,000	大会運営基金・70周年記念大会積み立てとして
3	雑収入	500	8		492	預金利息等
	合 計	1,070,644	870,152		200,492	

《支出の部》

	科 目	予算額	決算額			
1	一般会計へ組入	500,000	500,000		0	大阪大会運営基金
2	雑費	5,000	440		4,560	振込手数料
	合 計	505,000	500,440		4,560	

収入総額	870,152
支出総額	500,440
残金	369,712

令和3(2021)年1月8日

各 都 県 高 等 学 校 長 殿

神奈川県高等学校教科研究会会長 市川 道伸

(神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校長)

神奈川県高等学校教科研究会社会科部会

部 会 長 大沢 利郎

(神奈川県立上溝南高等学校長)

理 事 長 澤 野 理

歴史分科会長 長島 一浩

(公印省略)

令和2(2020)年度

関東歴史教育研究協議会神奈川大会について（ご案内）

厳寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から当協議会の活動につきましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、周知の通りのコロナ禍の厳しい状況ではございますが、万全の準備および感染拡大の予防対策を講じた上で、標記の研究協議会を次のとおり開催することとなりました。つきましては、一人でも多くの先生方のご参加をいただき充実した大会となりますよう、公務多端の折から誠に恐縮ではございますが、貴職下関係職員の大会参加につきまして特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本大会は、神奈川県の社会科部会歴史分科会の研究発表会を兼ねたものであることを申し添えさせていただきます。

1 日 時 令和3(2021)年3月5日（金） 10:00～17:00

2 会 場 日本丸メモリアルパーク 帆船日本丸・横浜みなと博物館 会議室
(桜木町駅、みなとみらい駅から徒歩5分)
横浜市西区みなとみらい2-1-1 (TEL 045-221-0280)

*緊急の場合を除き、お問合せはご遠慮ください。

3 時 程

9:20～	受 付
10:00～11:30	研究発表および協議
11:30～11:45	講評 (神奈川県教育委員会高校教育指導課指導主事)
11:45～12:45	昼食・休憩 (関歴研各都県理事打合せ)
12:45～14:45	講演会・質疑応答
14:45～15:00	諸連絡
15:00～17:00	史跡見学（みなとみらい周辺）



4 研究発表内容

①『樺太を教える ―植民地か？それとも内地の延長か？』

発表者 新 谷 桂 (神奈川県立希望ヶ丘高等学校)

②『大衆化の時代における民族運動 ―三・一独立運動を事例として考える―』

発表者 中山 拓憲 (神奈川県立湘南高等学校)

5 講演会

演 題 『横浜中華街の歴史と現在』 (仮題)

講 師 伊藤 泉美 (いとう いずみ) 横浜ユーラシア文化館副館長

講師紹介 1962年 神奈川県横浜市生まれ

横浜市立大学文理学部卒, お茶の水女子大学文教育学部 (修士課程),

同大学院人間文化研究科 (博士課程), 博士 (人文科学)

横浜開港資料館主任調査研究員を経て現職

主な研究業績等

- ・『横浜華僑社会の形成と発展―幕末開港期から関東大震災復興期まで』山川出版社 2018
- ・『横浜中華街150年 落地生根の歳月』横浜開港資料館 2009
- ・『装いの横浜チャイナタウン 華僑女性の服飾史』横浜開港資料館 2019
- ・『開国日本と横浜中華街』 (共著) 大修館書店 2002
- ・『講座明治維新 第六巻 明治維新と外交』 (共著) 有志舎 2017

6 史跡見学 (みなとみらい周辺) 主な見学地

旧横浜鉄道歴史展示・鉄道発祥の碑 (弁天橋・万国橋)、JICA海外移住資料館、旧横浜船渠株式会社第一号船渠 (日本丸)、ドッグヤードガーデン (17:00解散) *すべて徒歩による見学です

7 参加申込とお願い

①史跡見学も含み参加費は無料です。

②参加を希望される方は、 <https://forms.gle/acdGGRHwx4dc3FeX9>

(右のQRコード) へアクセスし、2月19日(金)16時までに申込を済ませて下さい。電話・Fax等、他の方法による申込は受け付けません。

③昼の各都県理事打合せ(理事会)にご出席いただける方は、「申込フォーム」の所定欄へご記入ください(事務局で昼食を¥1000にてご用意致します)。

④理事会ご出席の方を除き、昼食の用意はございません。近隣に飲食施設をご利用下さい。会場内での飲食は可能です。

⑤会場には駐車スペースがございません。公共交通機関をご利用ください。

⑥事前の検温等、体調管理に各自ご留意の上、会場ではマスクの着用をお願いします。また、参加者相互の適切な距離を保つため、座席の移動をお願いするなどの場合がございます。



問合せ先

神奈川県立瀬谷高等学校 長島 一浩

電話 045-301-9728 FAX 045-301-9728

E-mail: k-nagashima@pen-kanagawa.ed.jp